

## ■研究課題名

### 【高品質で安定的に生産可能なレンコン新品種育成】

〔研究機関名〕 徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所

〔研究担当名〕 野菜・花き担当

〔成果の要約〕 台風の被害を回避できる早生品種の育成を目的に、県内の主要栽培品種である備中、オオジロ、ロータス、金澄の間で交配し、3次選抜まで行った結果、形状、収量等からオオジロと備中の交配による1個体を選抜しました。

## ■研究の背景・目的

県内のレンコンは鳴門市を中心に約600haが栽培され、全国第2位の産地となっています。しかし、県内の主力品種である「備中」は市場評価が高い反面、晩生種であることから台風の襲来によって地上部が傷むことによるレンコンの収量や品質の低下が問題となっています。

これを軽減するには7月中旬までにレンコンの肥大が完了する品種の導入が有効ですが、「備中」のように優良な形状を持つ早生品種はありませんでした。そこで諸条件（大型・楕円形・早生）を満たす新品種の育成を行いました。

## ■成果の内容

- (1) 県内の主要栽培品種である備中、オオジロ、ロータス、金澄の品種間で交配を行い、9組合せのF1種子を平成18年474個、平成19年271個、平成20年448個、平成21年430個、合計1,623個採取しました（表1）。
- (2) 平成18年に得られた種子から、平成19年に200個体のF1実生を小型容器で養成し、生長した地下茎の形状などから30個体を選抜（1次選抜）した後（図1）、平成20年に大型容器に移植して5個体を選抜（2次選抜）しました（図2）。
- (3) 2次選抜を経た5個体を平成21年に鳴門市大麻町の現地圃場2カ所で栽培（3次選抜）し、形状、収量等からオオジロと備中の交配による1個体を選抜しました（表2、図3、4）。

## ■普及の見込み・波及効果

今後生産現場での評価や早生性の調査を継続し、新品種の育成、普及による安定生産の実現を図ります。

## ■主なデータ・図表・写真

表1 選抜系統の組み合わせと採種数

| 母本   | 父本   | 交配年 |     |     |     | 合計   |
|------|------|-----|-----|-----|-----|------|
|      |      | H18 | H19 | H20 | H21 |      |
| 備中   | ロータス | 112 | —   | 14  | 43  | 169  |
| 備中   | オオジロ | 40  | 38  | 87  | 32  | 197  |
| オオジロ | 備中   | 64  | 21  | 36  | 241 | 362  |
| オオジロ | ロータス | 55  | 71  | 38  | 49  | 213  |
| ロータス | 備中   | 138 | 32  | 51  | 65  | 286  |
| ロータス | オオジロ | 65  | 109 | 15  | —   | 189  |
| 備中   | 金澄   | —   | —   | 86  | —   | 86   |
| 金澄   | 備中   | —   | —   | 96  | —   | 96   |
| ロータス | 金澄   | —   | —   | 25  | —   | 25   |
| 合計   |      | 474 | 271 | 448 | 430 | 1623 |

表2 選抜した1個体と備中の比較

|      | H21年8月7日における<br>4節目の形状(早生性評価) |        | H22年3月28日<br>(収量調査) |         |
|------|-------------------------------|--------|---------------------|---------|
|      | 茎長(cm)                        | 茎径(cm) | 3節長(cm)             | 3節重量(g) |
| 選抜個体 | 56.1                          | 2.7    | 58.8                | 980     |
| 備中   | 59.6                          | 1.8    | 58.5                | 950     |



図1 1次選抜



図2 2次選抜



図3 3次選抜



図4 選抜個体の早生性評価  
(平成21年8月7日)